

苦勞・協力・達成の3日間

個性豊かな29人のリーダー誕生!



入塾式であいさつする奥さん(中央)

むなかたの次世代リーダー養成塾が1月10日〜同日、グローバルアリーナで開催され、昨年度に引き続き2回目の実施となった本年度は、「世界はもう君の手の中に」をテーマに、市内の中学生29人が参加しました。

5クラスに分かれて、3日間多彩な講師陣の講義をはじめ、福岡市内でフィールドワークなどを実施。塾最終日には、グループワークの成果を、新聞形式にまとめ発表しました。

「宗像市を知っていますか?」塾初日、塾生はクラスごとに、日本に観光・定住している外国人を突撃インタビュー。質問を英語で用意するなど気合十分。新聞作りをする上で必要な情報を、懸命に集めました。

塾2日目の午前、杏林(きょうりん)大学客員教授、詩人・版画家のピーターJマクミランさんの講義が実施されました。伊勢物語や万葉集を英訳したものを塾生に見せながら、日本文化の素晴らしさを伝えました。

午後からは、認定NPO法人日本紛争予防センター理事長JCCPM株式会社の取締役の瀬谷ルミ子さんの講義が実施されました。

入塾式では、玄海中学校1年の奥友希(ゆうき)さんが「たくさんの人をまとめる、協力して物事を進める、積極的に挑戦する、この3つのことができるようになりたい」と塾生の代表として、力強くあいさつをしました。

「宗像市を多くの人に知ってもらいたい!」という気持ちが一層強くなっています。が、この結果に刺激され、

「宗像を多くの人に知ってもらいたい!」という気持ちが一層強くなっています。が、この結果に刺激され、



個性あふれた思い思いの富士山を描きました 塾生とマクミランさん(右)

新聞の紹介

Table with 3 columns: クラス, 新聞の名前, 提言 (宗像がより国際化し、多くの外国人に観光、定住してもらうためにどうするか?)

日本人だからこそ

午後からは、認定NPO法人日本紛争予防センター理事長JCCPM株式会社の取締役の瀬谷ルミ子さんの講義が実施されました。

「日本の戦後復興はどのようになされたのか教えてほしい」と、よく聞かれるそうです。戦後70年たつ今も、日本は世界へ希望の光を与えているようです。堤百花さん(河東中2年)は「紛争」の意味を学習できて良



最優秀作品に選ばれた5組の新聞

終活セミナー開催
『終活カウンセラー協会』認定の終活カウンセラーがわかりやすく解説します
テーマ: ①終活のすすめ方 ②エンディングノートについて
参加費無料
講師: 終活カウンセラー 眞武 純哉

3/14(土)・3/29(日)・4/5(日)・4/19(日)・5/10(日)
宗像ユリックス 13時~16時
伊藤弘幸 行政書士事務所
0120-724-753
090-7980-1240